



NASUKARASUYAMA

# 議会だより

No.4  
平成18年11月  
2006



## つくし幼稚園おいもほり

- ◆ 議会の主な記事（9月定例会） 2～3
- ◆ 一般質問 …………… 4～7
- ◆ 平成17年度決算審査 …………… 8
- ◆ まちづくり団体支援事業の紹介 …… 8
- ◆ 主な質疑 …………… 9
- ◆ 福島県白沢村議会来庁 …………… 10
- ◆ 広域行政事務組合議会報告 …………… 10
- ◆ 議会の動き …………… 10
- ◆ 定例会を傍聴して …………… 11
- ◆ 議会報告（8月臨時会） …………… 11
- ◆ あとがき …………… 12

# 新市として初の決算を認定!!

那須烏山市議会9月定例会は、12日に招集され、会期を11日間と定め、人事案2件、条例案7件、補正予算案8件、決算認定2件、その他1件の計20議案、その他報告2件、陳情書7件、意見書案1件について審議しました。

また、20日から21日までの2日間にわたり8名の議員が一般質問を行いました。

伴い、条例中の身体障害者施設等を障害者支援施設に改正する等、所要の改正をするものです。

## ⑥ 那須烏山市国民健康保険条例の一部改正

「国民健康保険法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、出産育児一時金の金額を30万円から35万円に、葬祭費の金額を6万円から5万円に改定するため、所要の改正をするものです。

## ⑦ 那須烏山市立学校設置条例等の一部改正

烏山地区において進めてきた学校統合計画に基づき、平成19年3月31日付けで野上小学校及び向田小学校を廃止し、同年4月1日付けで両校を烏山小学校に統合するため所要の改正をするものです。

## 人事

○教育委員に平野加寿子氏を任命同意、人権擁護委員候補者に高野とみ子氏と鈴木三男氏を推薦

教育委員の野上玲子氏の任期が平成18年11月29日で満了することに伴い、新たに平野加寿子氏（金井二丁目）を同委員として任命同意しました。

人権擁護委員の大山勝道氏、小幡浩幸氏及び高野とみ子氏の任期が平成18年12月31日で満了することに伴い、引き続き高野とみ子氏（谷浅見）を、また、新たに鈴木

三男氏（南一丁目）を同委員の候補者として、法務大臣に推薦することを決めました。

## 条例の制定及び一部改正

### ① 那須烏山市企業の誘致及び立地を促進する条例の制定

地域産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、市へ進出した企業等への優遇措置を定めるものです。優遇措置の内容は、進出した企業等が事業等のために取得した土地、建物等に係る固定資産税を基準に3年間に、1億円を限度額として奨励金を交付するというものです。

また、進出した企業等が事業等のために土地及び建物を賃借する場合についても、二十万円を限度額として、賃借料の10%に相当する額を交付します。

### ② 那須烏山市国民保護協議会設置及び運営条例の制定

「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」の制定に伴い、市長の附属機関としての国民保護協議会の設置及び運営、国民の保護のための措置の総合的な推進に関する事務を行う国民保護対策本部等の設置及び運営並びに国民保護協議会委員の報酬について必要な事項を定めるものです。

### ③ 那須烏山市国民保護対策本部等設置及び運営条例の制定

「障害者自立支援法」の施行に

### ④ 那須烏山市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

「障害者自立支援法」の施行に





## 補正予算

平成18年度の一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計及び水道事業会計の補正予算案が上程され、すべて原案のとおり可決されました。

今回、補正された主な内容は、安全な生活基盤整備のための道路整備費、農道や水路等の整備促進を図る市単独土地改良事業費、6月に発生した梅雨前線豪雨による災害復旧事業費などです。

## 報告案件

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、「財団法人那須烏山市農業公社」の経営状況について、また、専決処分した損害賠償の額の決定及び和解について報告がありました。

## 陳情書

今回の定例会までに7件の陳情書を受理しました。

審査の結果は、次のとおりです。

## 決算認定

平成17年度（合併のため10月から3月までの6ヶ月間）の一般会計、特別会計及び水道事業会計決算が各常任委員会に付託、審査を経て、本会議において認定されました。（詳しくは、8ページをご覧ください。）

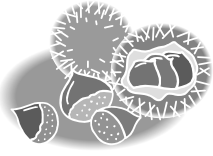
## 採択

○市道初音野上舟戸線の道路及び農道整備に関する陳情について

陳情者 野上舟戸自治会長 水井 公

○市道向田落合線の道路整備に関する陳情について

陳情者 落合自治会長 高野 好永



向田地区代表自治会長

荒井 一雄  
外7名

○市道高瀬森田線及び市道向田森田線の道路整備に関する陳情について

陳情者 向田連合 荒井 一雄  
南部連合 船山 重平

○教育基本法「改正」案の慎重審議を求める意見書の採択と教育基本法の理念を学校と社会に生かすことを求める陳情について

陳情者 宇都宮大学職員組合 遠藤 忠  
執行委員長 全栃木教職組合 小久保富治  
執行委員長

## 不採択

○最低保障年金制度創設を求める陳情について

陳情者 全日本年金者組合栃木県本部 執行委員長 松山 正

○「集配局の廃止再編計画」に反対する意見書」採択に関する陳情について

陳情者 全国労働組合総連合 坂内 三夫  
議長

○市道治部内葉木沢線の側溝整備に関する陳情について

陳情者 神長川西自治会長 大野 英夫

## 意見書提出

今回の定例会では、陳情書の採択に伴い、次の意見書を国会に提出しました。

○教育基本法「改正」法案の慎重審議を求める意見書

## 継続審査

○「人権侵害の救済に関する法律」の早期制定を求める意見書の採択に関する陳情について

陳情者 部落開放同盟栃木県連合会 執行委員長 和田 献一

教育にかかわる問題については、「時間をかけて議論すべき」との国民の声が急に高まってきたことが、各種マスコミの世論調査にも示されています。教育は、わが子・わが孫・わが地域のことであり、そもそも「教育とは何か」「教育とは誰のためにあるのか」など、根源的な、しかも教育をめぐる国民的な議論が起って来たというのが、今日の状況だと思えます。こうした状況を踏まえ、教育基本法の2つの「改正」法案について、慎重に審議することを強く求めます。



一・般・質・問

質問・答弁の内容は要約してあります。

未納金14億円の徴収対策は



質問者 中山五男 議員

(問) 市の滞納繰越額は水道料などを含め、合併時より1億2千万円増え総額14億円に膨れ上がった。

これを裏づけるように本市の税徴収率は県内33市町の中で最下位にある。

又、時効による不納欠損金はこの5年間に旧両町分合わせて5億7千万円にのぼる。この不名誉な徴収率最下位をいかにして脱却させるつもりか。

◎市長 未納金の徴収には係長以上の職員120名に加え、嘱託職員3名を採用して取り組んできた。更に税務課でも新たな徴収方法を取り入れるなどしたが、結果として実績が上がらなかった。

今後は法的手段による強制執行も考え、弁護士顧問料も予算計上した。更に来年度は県税事務所の応援を得ながら実績を上げたい。

子供の教育は家庭のぬくもりから

(問) 県は第3日曜日家庭の日と定めた。本市でも県に呼応し、市独自の条例を制定し、今こそぬくもりある家庭づくりに取り組むべきではないか。

◎市長 家庭の日定着のために市独自の施策として、親教育支援センター(仮称)を設け、子供の学力低下や非行問題などに取り組むたい。その研究の中で家庭の日条例制定も考える。

山あげ祭りの  
存続方法は

(問) 本市最大の祭典、山あげ祭りに繰り出す大屋台は市の宝とも言える。今後の市財政がいかにひっ迫しようともこの祭りは守り継がなければならぬ。市長の考えを伺いたい。

◎市長 山あげ祭りの保存継承には運営費や人手不足など多くの問題を抱えている。市でもでき得る限りの助成をする他、大屋台六基も火災保険に入り守りたい。



道路管理条例の制定を



質問者 水上正治 議員

(問) 道路の法面や民地から道路に覆いかぶさっている樹木や枝を道路管理者、土地所有者、地域が一体となった市道管理条例の制定が必要と思うが。

◎市長 樹木等が道路に覆いかぶさって危険であれば所有者が危険防止のための措置を講ずるのが原則である。

しかし、所有者に伐採をお願いしたり、所有者の了解のもとに市で処理している事もあるので、検討させていただきます。

(問) 伐採木や側溝堆積土の保管場所設置の考えは。  
◎市長 現地や市有地内で処理しているが十分に確保されていないので、市民の理解を得て確保に努めたい。

財政力の向上策について

(問) 本市の財政力向上は不可欠である。これまでの取り組み状況を伺う。

◎市長 本市の平成18年度財政力指数は若干向上したものの14市の中で最下位である。

よって次の点を重点に取り組んでいる。

- 一、企業誘致による税収等の自主財源を増やす対策
- 二、産学官の連携による新事業の開拓、企業の支援、育成
- 三、市税等の徴収率向上対策
- 四、行財政集中改革プランに基づく行財政改革の推進

(問) 税収増対策として市民や団体等への取り



組みは。  
◎市長 行政区長、農業委員会、土地改良区等に対して、企業誘致や定住人口対策の底地活用をお願いしている。

指定管理者制度の  
拡大について

(問) 指定管理者制度が実施されたが、今後さらに拡大するつもりか。

◎市長 本年9月1日から16団体を指定管理者に指定した。中でもやまびこの湯は10月1日から民間により復活し、経費も年間5600万円程度削減出来る。

今後も民間の活力により経費の削減とサービスの向上を図る目的で100以上に及ぶ団体を視野に入れている。



# 契約は一般競争入札に改善を



質問者 佐藤昇市 議員

## 行財政対策 改善について

(問) 本市の財政は、厳しい状況にあると推測される。そのため改善策を伺う。

◎市長 財政力指数0.469、経常収支比率87.8%であり、実質公債比率も県平均13.7%に対して16.7%と高く大変厳しい状況である。今後も国の三位一体の改革に基づき、地方交付税、国庫補助金、負担金の減少、財政調整基金の枯渇などが懸念される。地方分権に対応した自立した街づくりを目指し、一層の行財政改革を断行し、歳出削減に徹底して努め、合併特例債等の有利な起債を選挙、抑制、平準化を図る。

また、市税等の徴収率の向上を図るために、市税等公金収納プロジェクトチームを設置し、滞納整理の強化を図る。

未利用財産は、売却を含め活用策を検討する。

## 工事発注と地元業者育成について

(問) 工事契約は一般競争入札が原則であり、入札を指名競争から改善する考えがあるか伺う。

◎市長 市内業者育成を基本理念として、低入札価格制度も新市になり導入、事業規模に応じたランクにより公平、公正な入札を執行している。今後は制限付き一般競争入札が理想であり、そのような競争入札に移行

できるように検討していく。



## 小貝川源流池公園 汚染防止を

(問) 小貝川源流池の汚染は、年々激化し、地域の環境悪化が懸念されている。行政指導による環境の改善に全力で取り組むべきと思うが考えを伺う。

◎市長 小貝川源流池は行政管理で行うべきと強く認識している。今後も事業主との問題解決が急務であり、県とも協議をしながら協定書に基づく指導徹底を図る。

# 行財政と少子高齢化対応を伺う



質問者 平山 進 議員

## 行政改革の 推進について

(問) 統廃合に伴う学校給食センター運営方法見直しの考えは。

◎市長 七合小学校と興野小学校は南那須給食センターから配送し、鳥山小学校給食共同調理場からは鳥山小学校、境小学校、東小学校の3校に提供、鳥山中学校給食共同調理場からは鳥山中学校、七合中学校の2校の供給を来年度からは考えている。

## 子育て支援について

(問) チャイルドシート購入助成の見直しの考えは。

◎市長 少子化、人口減少の対処方策としてチャイルドシート購入助成の復活も視野にいれ再検討する。

(問) 鳥山小学校統合に伴い、路線バスが運行されていない地区へのスクールバス運行導入の考えは。

◎市長 来年度から神長地区の運行を検討し、その他の地区は随時、柔軟な対応で改善をする。

## 福祉行政について

(問) 高齢者・障害者機能回復訓練が隔週開催に減ったが、高齢者医療費抑制に伴う介護予防施策の考えは。

◎市長 高齢者・障害者機能回復訓練より介護予防教室内容の充実したプログラム等を調整している。

(問) 福祉バス利用促進の考えは。

◎市長 新路線後、3ヶ月の経過なので、一定期間の利用者状況を分析しながら運行路線改善等を講じ利用促進に努める。



# 指定管理者制度と今後の対応について



質問者 久保居光一郎 議員

(問) 行財政改革を図るには、大いに指定管理者制度を活用すべきと考える。この制度導入の機会を捉え、また何故の両町合併かを考え、各団体の現状を精査して適切な行政指導をおこなうべきと思うが市長の見解を伺う。

◎市長 各団体と意見交換をして精査すべきとの提言は同感である。単に従来の形を踏襲するだけでなく、あるべき改革を断行する。

## 企業誘致の進捗状況と環境整備について

(問) 企業誘致は多くの自治体が望むところであり容易ではないが腰を据えて取り組まれたい。誘致委員会の進捗状況と、誘致企業を

どのように支援するかなど具体的な環境整備について伺いたい。また工場建設においては市内企業に発注されるよう進言されたい。

◎市長 企業誘致委員会への引き合いは、新規企業1件、現存企業の増築3件である。誘致にあつては地元住民との説明会も市が主催して進めたいと考えている。また工場建設も市内企業に発注されるよう努力したい。

## サタデースクールの成果と今後の取り組みについて

(問) これまでの成果について伺う。  
◎市長 他市町村と違った教育の推進がおこなえた。児童生徒の学習に対する関心度の高揚と醸成が図れた

と考えている。

(問) 市が行う事業であるならば、学年学科を特定せずにスポーツ・文化を含め、全児童生徒を対象とした個性を伸ばす教育をおこなうことも一案だと思いが、その所感を伺う。

◎市長 市長が教育分野で介入するには制度面で限界がある。全校生を対象とした学力・スポーツ・文化活動事業は検討するが、理想とすべきところかと思う。

## スポーツ・文化の振興について

(問) 市民運動会と文化祭が今秋開催される。広く周知するために防災無線や広報車を活用されてはどうか。またスポーツ・文化活動を推進するための人材や団体の支援育成を図りたい。  
◎市長 防災無線などの活用は同感である。スポーツ文化活動の拡充をしていく必要性を感じている。

# 障害者自立支援法の対策



質問者 平塚英教 議員

(問) 本年4月から、障害者が授産施設等を利用する度合によって一割の自己負担が導入され、重い負担となつて利用をやめたり控えたり、施設側では補助制度が変わって経営困難になる事業所も報道されている。10月からは自治体での事務事業が本格化する中で利用者、関係者の実態に合った制度改正を国に求め、市独自の負担軽減対策を図りたい。

◎市長 市内障害者手帳交付は身体、知的、精神の計で1672名。同法ではこれを市で一元化し、利用者本位にサービス体系を再編したものです。施設報酬単価も月額制から日額制になり事業収入の大幅減、利

用者の一割負担の問題も出ている。市としては県や市町と連携し、国関係機関に要望し、市独自の負担軽減もできる限りの支援策を進めたいが財政難も実態。来年度当初予算には方向性を出す。

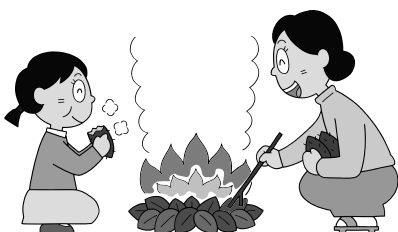
## 野生鳥獣等の被害対策は

(問) 市内の有害鳥獣等による農作物への被害対策として農家への被害防止の情報提供や防護対策実施への助成など実行力ある支援策を図りたい。  
◎市長 猪、ハクビシン等の被害が増え深刻である。有害鳥獣捕獲を猟友会に依頼して進めているが有害鳥獣は広域に移動するので近

隣市町と協力して一斉捕獲を進め、防護柵設置助成を行ってまいりたい。

## デジタル放送対策は

(問) テレビ放送の地上波デジタル化に伴う難視聴地域の共同アンテナ等の受信組合への国、NHK等からの助成対策を徹底させ、市の対策も図りたい。  
◎市長 地上波デジタル放送の移行にあたり、市内16共同受信施設のNHK分は同社が負担、民放は受益者負担が原則である。国、県にも財政支援を求め、市情報計画で市の役割も明確化してまいりたい。





# 案内板の設置を



質問者 高田悦男 議員

(問) 合併後1年を迎えるが、市有施設等の案内板設置を早急に進められたい。また市有施設の安全対策について伺う。

◎市長 各施設の案内標識の不足は事実である。利用度の高い施設を中心に案内板の設置を考えていきたい。小中学校では各学期の開始時に点検し、改善を図っている。七合中のプール排水口、つくし幼稚園のプランコや七合小の外周フェンスなどの改修をしている。

(問) 県道宇都宮烏山線の改修工事について伺う。高瀬トンネルの進捗状況と見通し、地元住民説明会が開かれた三百沢工区と田野倉ガード付近の事業について伺う。

◎市長 高瀬工区については用地取得が概ね済んでいる。県の説明では平成20年にトンネル工事を着手し3年後の完成予定である。



三百沢工区は今年度から用地取得を開始した。田野倉ガード下の車道幅はきわ



めて狭く、排水対策、変則交差点の改築とあわせ、更に県に要望していきたい。

## 防災について

(問) 合併後の災害対策を伺う。防災行政無線難聴地区の解消を図られたい。

◎市長 市の地域防災計画を策定中であり、旧2町の防災計画に基づき行う。防災行政無線の難聴は烏山地区の整備と併せて総合計画の中で検討していく。

## 環境問題について

(問) 市として地球温暖化防止の取り組みを伺う。

猪、スズメバチ、ハクビシンなどの有害鳥獣対策を進められたい。

◎市長 市では昼休み時の庁舎の消灯、公用車のアイドリングストップ、ハイブリッド車(市長車)、空調の適温設定などに取り組んでいる。

猪・鳥・鴨は猟友会に依頼しているが、期間を延長し対応したい。森林環境維持保全を更に努めていく。

# 地方財政健全化の推進について



質問者 槇山隆四郎 議員

(問) 国は平成23年までに16兆5千億円の歳出削減を行い基礎的財政収支(プライマリーバランス)を黒字にすると言うがその場合、地方交付税依存率の高い(40・4%)那須烏山市はどのような影響を受けるのか。

◎市長 三位一体の改革に現れている。すでに交付税は過去三年に5兆1千億円減。当市の特別交付税は1億6千万円減額。国のスタンスは国の財政赤字を地方に回す形で進めている、危機的状況を感じる。

(問) 地方交付税減額による財政危機をどう乗り切るのか。

◎市長 普通交付税は35億2千万円は確保、特別交付税は5億円確保したい、定

167件調整済、未着手7件である。

(問) 調整の中に烏山、南那須観光協会は合併後一年が経過しても合併がされていない。商工会、観光協会がそれぞれ一日も早く一つになり市発展の為に尽くして頂きたいと思うが市長の考えは。

◎市長 商工会、観光協会は活性化の重要な組織である。商工会は19年4月合併に向けて協議中、観光協会は合併に向けて指導をしている最中である。

## 合併後に調整する事務事業について

(問) 合併後に調整する事務事業の進捗状況について伺う。

◎市長 合併協議会で協議したものの1513件の内84%の1260件が調整済、合併後調整が244件の内



# 平成17年度決算審査

一般会計をはじめ、7特別会計、水道事業会計の決算については、各常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会での審査中に提出された意見を要約したものを掲載します。

## 総務企画常任委員会

- ◎ 所管する部局  
総務部（総務課、企画財政課、税務課）、会計課及び議会事務局
- ◎ 審査事項  
所管する部局の一般会計の歳入歳出決算

○ 財政状況は、大変厳しい状況であり、地方交付税等の財源確保に留意すること。



○ 市税等の滞納について、徴収率の向上にさらに努めること。

○ 行財政改革をさらに推進し、人件費の削減に努めること。

○ 消防団の自主統合を促進し、組織の再編を図ること。

## 文教福祉常任委員会

- ◎ 所管する部局  
市民福祉部（市民課、福祉課、健康課）及び教育委員会（学校教育課、生涯学習課、スポーツ振興課）
- ◎ 審査事項  
所管する部局の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算

○ 保育料の徴収方法について、抜本的な徴収方法の改善を求め、徴収率の向上に努めること。

○ 社会福祉及び高齢者福祉において、市独自の施策を積極的に講じるよう検討すること。

○ 図書館、郷土資料館及び歴史民俗資料館について、歴史的資料等の保存に関して、有効活用・有効利用を考慮した上で、これらの施設の必要な整備について検討すること。



## 経済建設常任委員会

- ◎ 所管する部局  
経済環境部（農政課、環境課、商工観光課）及び建設部（管理課、建設課、下水道課、水道課）
- ◎ 審査事項  
所管する部局の一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算

○ 休耕地の有効活用について検討すること。

○ 塵芥収集業務に係る工区の見直し、ごみステーションの設置場所の見直し及び新しい形態のごみ袋の作成について検討すること。

○ 優良企業の誘致に努めること。

○ 観光協会の合併促進を図ること。

○ 市営住宅の使用料未納者で、特に悪質な未納者については、強制力を持つ徴収方法を検討すること。

○ 県単独事業等を効果的に活用し、道路及び施設等の整備を図ること。

○ 下水道加入率の向上に努めること。

○ 水道の漏水防止及び水道使用料の徴収率の向上に努めること。



## まちづくり団体 支援事業の紹介

ボランティア団体やNPO等が実施する商店街の活性化、環境美化・リサイクル活動、地域スポーツクラブの運営、その他まちづくりに関する事業等を対象とし、1団体20万円以内、補助期間3年以内の補助金の交付や、市の職員が目的に応じて活動を支援します。市が公募した結果、次の団体が支援対象として選定されました。

### 「団体名（支援事業内容等）」

- ① 特定非営利活動法人NPOとしてとて（高齢者在宅支援事業）
- ② 木須川を愛する会（オオムラサキ公園周辺環境整備事業）
- ③ 県道宇都宮・鳥山線街づくり推進委員会（神長トンネルから国道294号までの環境美化事業）
- ④ 栃木県消費者リーダー連絡会那須烏山支部（消費者トラブル相談・防止事業）
- ⑤ 生涯野球スネークス（生涯野球大会開催事業（65才以上のチームによる東日本野球大会の開催））
- ⑥ ゲンキーズ陸上協議（年代に応じた陸上競技推進事業）
- ⑦ 嵐山陸会（みこしでつくるまつりとまちづくり事業）



# 主な質疑

## 9月定例会

ここでは、市長が提出した議案の審議の中で、議員の質疑の中から主なものを要約して掲載します。

### 条例関係

○那須烏山市国民保護協議会及び国民保護対策本部関連

議員 協議会の主な役割は。

答弁 国民保護計画の策定、避難場所の指定、誘導計画の策定を行う。

議員 本市の国民保護計画をいつまでに策定するのか。

答弁 本年度内に素案をつくりたい。

議員 仮に、緊急事態が発生した場合、市民に対する情報伝達方法は。

答弁 南那須地区においては、防災無線を活用し、烏山地区においては、サイレンや広報車の利用等を考えている。

○那須烏山市企業の誘致及び立地を促進する条例関係

議員 立地企業が固定資産税を全納したことにより報奨金を得ている場合、立地企業奨励金はどのように取り扱うのか。

答弁 市が全納報奨金を支払っている場合は、二重交付になってしまうので、その分を差し引いて企業立地奨励金を交付する。

議員 旧烏山町時代に造成をめざしていた興野地区の工業団地予定地について、今後、どのように考えているのか。

答弁 経済状況の変化で用地がまとまらず工業団地造成を断念した経緯があるが、予定地の地主の中には現在でも用地を提供する意向がある方もいるので、進出希望企業が生じた場合は誘導していきたい。

○那須烏山市立学校設置条例等の一部改正について

議員 小学校統合により、烏山小学校が大規模校になるが、大規模校に見受けられるいじめ等に対する防止策は。

答弁 不登校やいじめ等の不安解消と同時にメンタルケアに努めたい。

議員 小学校の跡地をどのように活用するのか。

答弁 地域の方々の意見を拝聴しながら公共施設等に活用したい。

### 補正予算関係

議員 民生費の放課後児童健全事業費226万9千円は、どの施設の育成事業か。

答弁 烏山小学校に併設したドルフィンクラブである。児童数が見込数より大幅に人数が増えたため、国庫補助の対象となった。

議員 需要対応型園芸産地育成事業費695万5千円の事業内容は。

答弁 梨を生産する農園の防水網設置する事業で、対象は7名、1・85haを予定している。

議員 城東地区内の排水管布設工事299万3千円の内容は。

答弁 国道294号沿いに大型商業施設が立地しているが、排水についてはこれまで地下浸透式で営業しているため、城東地区の環境改善を図るための事業である。

議員 公民館の施設整備費414万5千円が計上されているが、どここの公民館か。

答弁 元田町公民館を新設するための施設整備費である。

### 決算認定関係

議員 生活保護の現状は。

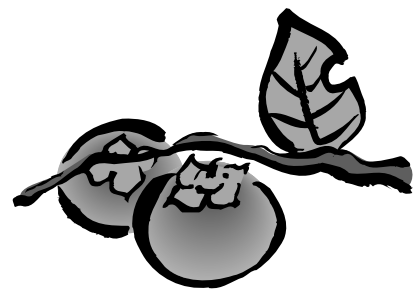
答弁 本年4月1日現在、128世帯、208名が生活保護の対象となっている。これは、昨年の10月1日現在と比較すると、3世帯10人の増加となっている。

議員 市内の水道管で、かつて使用されていた石綿管は、全て鉄管に交換されているのか。

答弁 南那須地区の一部に残っており、平成19年度中の解消に向けて努めたい。

議員 地域振興基金13億4千万円の運用益はどの位か。

答弁 国債を購入し、その運用益を考えている。短期のものや長期のものを半分ずつ購入した場合、約2400万円の運用益を見込んでいる。

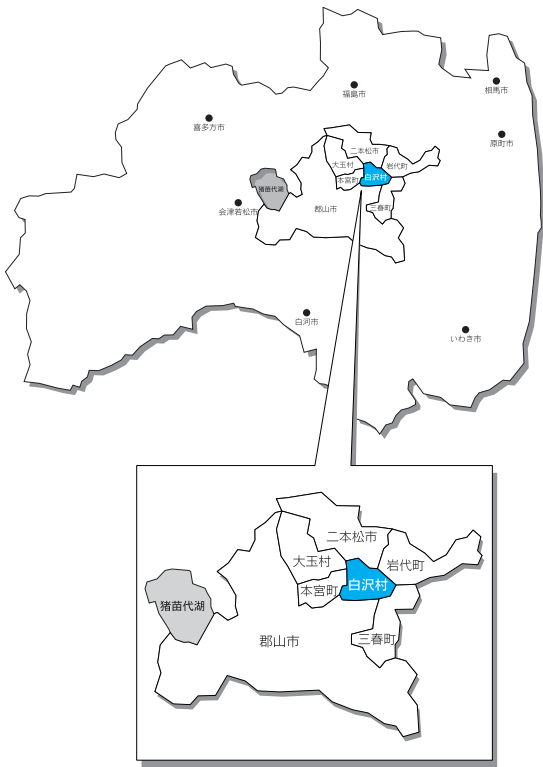


# 福島県白沢村議会来庁

去る10月13日、福島県の白沢村議会議員のみなさんが本市議会へ視察研修のため来庁しました。

白沢村は、福島県のほぼ中央にあり、人口は9308人、面積は4840ha、一世帯あたりの平均人口が4・32人であり、これは現在、日本一の記録となっています。平成19年1月1日付けで本宮町との2町合併により「本宮市」となる予定です。

今回の研修では、合併後、同じ人口規模（合併時の本宮市は約3万1500人）である本市議会を



先進事例とし、議会運営について、活発な意見交換が行なわれました。

# 広域行政事務組合

## 議会報告

第5回南那須地区広域行政事務組合定例会は9月25日に開かれ、

人事案、平成18年度一般会計補正予算案、平成17年度一般会計収支決算の認定及び病院事業収支決算の認定、その他の条例改正案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

主な内容は次のとおりです。

- 人事案件
- ・教育委員会委員の任命
- 池澤進氏（現那須烏山市教育長
- 塩野榮司氏（現那須烏山市教育委員）

○一般会計補正予算

保健衛生センターの煙突改修工事費等、4590万円の増額補正

○平成17年度一般会計収支決算

歳入総額 21億5218万526円（前年比17・6%減）  
 歳出総額 20億7604万561円



円（前年比18・3%減）

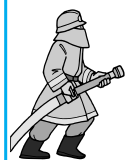
・斎場整備完了等により歳入歳出とも前年より減額となりました。

○平成17年度那須南病院会計決算

総収入額 23億342万円  
 総支出額 23億3634万円  
 ・差し引き純損失は、3292万円となりました。

## 議会の動き

8月	10日	議会だより第3号発行
	11日	全員協議会
	18日	議会運営委員会
	19日	いかんべ祭参加
	23日	全員協議会
	23日	第6回臨時会
9月	4日	議会運営委員会
	6日	全員協議会
	12日	第7回定例会（22日まで）
	13日	各常任委員会（14日まで）
	19日	経済建設常任委員会
	22日	全員協議会
	22日	議会広報委員会
10月	1日	合併1周年記念式典
	8日	市民運動会
	13日	議会広報委員会
	20日	議会広報委員会
	25日	総務企画常任委員会視察研修 （26日まで）
	29日	那須烏山市消防団通常点検





# 定例会を傍聴して



田野倉 塩谷 昭夫

久しぶりの議会傍聴である。議会の傍聴に行ってみようかと思ってもなかなか足が向かない。

なぜなのだろうか、あまり関心がないということなのか。これは、私だけのことなのだろうか。

市議会は私達の暮らしに一番身近で、しかも重要な事項がこの議会で決まってくるのだから、もっと関心をもたなければいけないなと反省している。

私たちが選んだ議員の方々が議会でどんな質問をして、どんな意見を述べているのか、実際に議場に行ってみることが大切だと思う。多くの人が傍聴することにより、議場に活気や緊張感も生まれると思う。

また、質問者や答弁者にも張り合いが出ると思う。

これから、市の将来のあり方を示す「市総合計画」や「市庁舎建設」等々、重要な検討事項が山積みされている。

将来を見据えて、関係機関や議会でおおいに議論しより良い結論を出して欲しいものである。

以前、メロンで有名な北海道の某市が破綻したことは、テレビや新聞で報道された。いろいろ便利な施設や機能があった方が良いいけれど、財政面や必要性について議会で十分検討されたのだろうか、と疑問に思ったものである。

当市においてもこれらを「他山の石」として、住みよいまちづくりのために、市議会の活躍を期待したい。

## 議会報告

### 第6回臨時議会

#### 16施設の指定管理者を指定

第6回臨時議会が平成18年8月23日に開会されました。

この臨時議会においては、6月に開かれた第5回定例会で可決・制定された「那須烏山市公の施設に係る指定管理者の指定の手続に関する条例」を受け、この制度を導入する各施設の条例を整備する「那須烏山市公の施設に係る指定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例」と、指定管理者制度導入に伴い、個人情報保護及び情報公開について必要な事項を定める「那須烏山市個人情報保護条例及び那須烏山市情報公開条例を一部改正する条例」を可決しました。

また、あすなる作業所、すずらん作業所等、市の16施設に指定管理者を指定することについて可決しました。

上程された議案については、次のとおりです。

①那須烏山市公の施設に係る指

定管理者制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

②那須烏山市個人情報保護条例及び那須烏山市情報公開条例の一部改正について

③那須烏山市あすなる作業所及び那須烏山市すずらん作業所の指定管理者の指定について

④那須烏山市農産物等加工処理施設の指定管理者の指定について

⑤那須烏山市農業会館の指定管理者の指定について

⑥那須烏山市八ヶ代コミュニティセンターの指定管理者の指定について

⑦那須烏山市民ふれあい農園及び那須烏山市ふれあい交流体験館の指定管理者の指定について

⑧那須烏山市自然休養村センター、那須烏山市山村活性化保健休養施設、那須烏山市森林総合利用促進施設、那須烏山市農林漁業体験実習館及び那須烏山市自然休養村キャンプ場の指定管理者の指定について

⑨那須烏山市やまびこの湯の指定管理者の指定について  
⑩那須烏山市山あげ会館及び那須

烏山市龍門ふるさと民芸館の指定管理者の指定について

⑪那須烏山市観光物産センターの指定管理者の指定について  
⑫平成18年度那須烏山市一般会計補正予算について

12議案とも原案のとおり可決されました。



# みなみなすタウンイルミネーションがはじまります



「みなみなすタウンイルミネーション」が12月1日（金）～平成19年1月15日（月）まで那須烏山市南那須庁舎隣接公園で開催されます。このイベントも今年で第6回を数え、街の風物詩として馴染みの深いものとなっています。今回は前回よりもさらにパワーアップし、新しい装飾も登場する予定です。また、毎年恒例のクリスマスイベントや写真コンテストも行なわれます。

くわしくは南那須観光協会 ☎0287(88)8192までお問い合わせください。



**あ**  
**と**  
**が**  
**き**

9月8日付け下野新聞にシモツケコウホネ新種登録、「世界で本県だけ」と大見出しで紹介された。発見されたものは水生植物の珍種であり、場所は日光市小代（旧今市）であった。また那須烏山市にも成育地があるとは驚きである。早急な保全を求めているとの報道であった。今後の課題は、保全管理、特に盗掘防止策であろう。

いま、県は環境に配慮した農業農村整備を進めている。具体的には、ほ場整備の際トジョウヤカエル・ホタルの生息環境を変えない水路の整備、里山の景観を残すことなどである。このようにして地域住民の協力を得て自然を守り育て、次代に引き継ぐことが大切である。「国家の品格」の作者藤原正彦氏曰く、美しい田園を失うな。感受性の源であり、そして人材を育てる基を…と。

## No. 4

発行 那須烏山市議会  
編集 那須烏山市議会  
広報委員会  
事務局  
☎0287-88-7114



## 次回の定例会は12月開会です

傍聴席はあなたが主役

議会を傍聴してみませんか。議会を傍聴することは、市民として市政を知る最も良い方法です。くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。